

日本語力・表現力など競う 留学生スピーチコンテスト開催

広島キワニスクラブ

奉仕団体の広島キワニスクラブ（中川日出夫会長、広島女学院理事長）は先月31日、留学生日本語スピーチコンテストin広島2021を開催した。

同クラブは広島で学ぶ留学生を支援しており、同コンテストは2010年から開催している。開会の挨拶で中川理事長は「外国語を学ぶことは文化を知ること。理解を深めて両国の架け橋となつてほしい」と話した。12人が出場し、最優秀賞はベトナム出身で広島国際学院大学のドアンヴァンリンさんの「あなた

は愛されている」だった。1人の留学生として日本に來たリンさんは、期待を持って事前に自己紹介の挨拶を何度も練習していたが、教室に入った時に自己紹介を求められず、誰からも話しかけられず馴染めなかった。悩んでいた時、父から電話があり自分が愛されていることを思い出し「他人にどのように思われようと自分らしく生きる」と決意。スピーチ終盤には「最後に自己紹介します！」と堂々と語った。



広島キワニスクラブ主催
留学生日本語スピーチコンテスト in 広島 2021

広島県社労士会会長に 横手裕康氏が就任

広島県社会保険労務士会（事務局：中区橋本町10-10）の会長に、横手裕康氏（ワイアンドジー社会保険労務士法人代表社員・社会保険労務士）写真が就任した。



横手氏は、平成20年に開業。同

29年に法人化して現在に至る。従来の会長と比べ43歳とまだ若いのが、専務理事、副会長を歴任しフットワークの軽さと他士業や行政とのパイプ役を担ってきたことなどが評価されて選任された。「前会長が推し進めて

きた社労士の業域拡大を引き継いで活躍する場を増やしていきたいと思っています。コロナ禍の雇用対策や働き方改革で社労士の認知度は上がりましたが、企業と従業員の幸せのために、従来の基本業務に加え、コンサル的なところでも一助になりたいと思っています」

また、今後需要が高まる外国人雇用の労務管理や、年金のことも相談窓口として寄与したい考え。県会の運営としては「社労士は女性の比率も高いので、女性活躍も率先してやっていきたい。私自身経験が浅いので一緒に作り上げる運営をしていきたいと思っています。時代に沿った形でやっていきたい」と抱負を話した。



プロ野球解説者
(元広島東洋カープ)
大野 豊

地域とともに 皆さまとともに



広島市信用組合
<https://www.hiroshimashi.shinkumi.jp/>